

第 16 回 技術フォーラム 開催要領

主催：公益社団法人 日本技術士会 北海道本部 事業委員会

テーマ

地域インフラのイノベーション ～北海道における地域インフラの現状と展望～

日時：平成 30 年 2 月 27 日（火） 13:00～17:30

会場：ホテル札幌ガーデンパレス（2F 丹頂の間）

札幌市中央区北 1 条西 6 丁目

TEL 011-261-5311

★参加のご案内

参加希望者は、氏名、ふりがな、部門、所属、参加料区分、意見交換会参加・不参加、連絡先電話番号を明記し、平成 30 年 2 月 21 日（水）までに、下記宛 FAX もしくは E メールでお申し込みください。多数の参加が見込まれますが、会場の都合上、先着 100 名となりますので、お早めにお申し込み下さい。

○参加料区分

- ①一般市民 ②学生（CPD 対象者を除く） ③CPD 無料参加券持参の技術士・技術士補 無料
- ④技術士会会員 1,000 円、⑤会友 1,500 円
- ⑥非会員 2,000 円
- ⑦その他（要 CPD 押印者）2,000 円

※無料券使用は事前申込の先着 20 名様のみ。

○情報交換会

フォーラム終了後に情報交換会を開催します。参加有無についてもご記載お願いします。

場所：ホテル札幌ガーデンパレス（真珠の間 4 階）

時間：17:30～（会費 3,000 円）

○申込先：公益社団法人 日本技術士会 北海道本部 事務局 （長谷川、岸本）

E-mail：hkd-eng@ipej-hokkaido.jp

FAX : 011-801-1618

【開催趣旨】

現在、北海道の各地域において、高度経済成長期に整備してきた大量の橋梁、上下水道などの多くのインフラが更新時期を迎えています。このようなインフラメンテナンスの重要度が高まっている中、北海道では、人口減少、少子高齢化の進行に伴い、インフラを抱える自治体職員をはじめ建設コンサルタント等、ステークホルダー自体の減少が深刻な状況となっています。

加えて、昨年度の台風によるインフラの災害等、気象の極端化等による台風・暴風雪災害等への対応など、地域の暮らしや生産活動を正常化する復旧やその復旧対応の迅速化等、益々、インフラメンテナンスに求められるニーズは高まっています。

一方、コンビニエンスストアなどは、災害時はもちろん、日常的にも地域の物流・情報の拠点として機能し、広域に分散する道民の安心・安全を支えていることから、広い意味でのインフラサービスとして重要な役割を果たしているところです。

今後の地域インフラには、本格的な人口減少時代の到来、アジア市場を始めとしたグローバル化の更なる進展を踏まえるとともに、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として育成し、豊富な地域資源とそれに裏打ちされたブランド力など、北海道が持つポテンシャルを最大限に活用できるような変革が求められています。

本フォーラムでは、基調講演①では「地域インフラのなりたち、インフラ確保・維持のための技術結集」、基調講演②では「地域インフラの未来」について、大いに語り合いたいと考えています。

【講演プログラム】

13:00～13:05 開会挨拶 公益社団法人 日本技術士会北海道本部 本部長 森 隆広

第1部 基調講演①「地域インフラのなりたち、インフラ確保・維持のための技術結集(災害復旧など)」

13:05～13:35 「北海道の水道のなりたち・変遷 ～水供給インフラの視点から～」

講演者：株式会社 日水コン 水道事業部 竹村 雅之 技術士

13:35～13:40 質疑応答

13:40～14:10 「H28 台風による JR の橋梁被害の災害復旧について」

講演者：北海道旅客鉄道 株式会社 鉄道事業本部 小西 康人 技術士

14:10～14:15 質疑応答

14:15～14:30 休憩

第2部 基調講演②「地域インフラの未来」

14:30～15:10 「第8期北海道総合開発計画の概要と北海道開発局における取り組み ～生産空間確保・維持のための取り組み～」

講演者：北海道開発局 建設部 道路計画課 道路調査官 池田 武司 様

15:10～15:20 意見交換

15:20～16:50 「セイコーマートにみる地域産業、地域インフラのあり方について」

講演者：株式会社 セコマ 丸谷 智保 社長

16:50～17:00 意見交換

17:00～17:25 全体を通じた意見交換

17:25～17:30 閉会の挨拶 公益社団法人 日本技術士会北海道本部 事業委員長 飯野 将徳

17:40～ 情報交換会 真珠の間 (4階)

※上記のセミナーの内容は、一部変更になることがありますので予めご了承ください。